

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2015年10月13日

都用地の植物を三井住友海上本社ビルに移植する 「在来種移植プロジェクト」を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:柄澤 康喜)は、今般、都用地に自生する在来種の植物を本社ビル緑地(住所:東京都千代田区神田駿河台)に移植し、その生育状況を検証する「在来種移植プロジェクト」を開始します。

本プロジェクトは、当社が2014年度から参画している、東京都の「江戸のみどり復活事業」の一環として行うもので、在来種を活用した都市緑化の推進を目的としています。なお、在来種移植の検証事業は、東京都初となります。

三井住友海上は、今後も、自治体と連携したさまざまな取り組みを通じて、都市緑化と生物多様性の普及に努めていきます。

1. 「在来種移植プロジェクト」について

本プロジェクトは、都内で採取された在来種の植物(埋土種子、幼木など)を当社の本社ビル緑地に移植し、その生育状況を検証するとともに、地元小学生の環境教育として活用するものです。このような在来種移植の検証事業は東京都初の取り組みであり、今後、本プロジェクトを通じて、都市緑化の課題と対応策について検討していきます。



<駿河台ビル南側緑地の様子>

(1) 移植する植物

東京都立清瀬小児病院跡地の開発にあたり伐採される、約60本の在来種(エノキやモミジ等の高木、ワラビ等の草本)を移植します。

(2) 駿河台ビル緑地への移植

移植作業は、千代田区立お茶の水小学校の1年生児童(約36名)が行います。卒業までの6年間、移植した木々の成長・変化や生きものの様子を定期的に観察し、環境教育に役立てていく予定です。また移植するコウゾを使った和紙作りも計画しています。

※移植作業の日程等は以下のとおりです。

□日 時: 2015年10月20日(火) 9:00~10:00

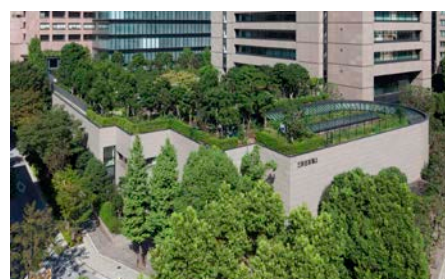
□場 所: 三井住友海上駿河台ビル 南側緑地(東京都千代田区神田駿河台3-9)

2. 「江戸のみどり復活事業(官民連携)」について

都と先駆的な在来種移植を行っている企業が連携して、実際の植栽地をフィールドとして活用しながら植栽管理上の課題解決策を検証するとともに、「在来種移植の管理等に関する検討会」を立ち上げ、在来種移植の本格普及に向けた取組方策や、効果的な普及啓発策を多角的に検討するものです。

(ご参考) 駿河台緑地について

三井住友海上駿河台ビル・駿河台新館には、総敷地面積の約40%を超える緑地があります。皇居と上野公園をつなぐエコロジカル・ネットワークの形成を目的に、在来種を中心とした樹種を植栽しているほか、薬剤散布に頼らない緑地管理を実施し、その効果を継続的にモニタリングしています。また、今年度は「都心の雑木林」をコンセプトに南側緑地の全面改修を行い、末永く千代田区の風土に根付く森を形成し、野鳥や生きものの誘致を目指しています。



以上